

東日本大震災復興支援松戸・東北交流プロジェクトニュース “黄色いハンカチ”

【発行者】

松戸・東北交流プロジェクト(代表:古宮保子)
〒271-0092 松戸市松戸 1834-5 小川ビル 2階
TEL: 047-710-5519 FAX: 047-710-5546
E-mail: yellowhandkerchief1834@gmail.com

松戸・東北交流プロジェクト 活動報告会開催

ご来賓の皆様・復興支援員の皆様ありがとうございました。
6月7日(日)松戸・東北交流プロジェクト活動報告会が、松戸市女性センターを会場に行いました。参加者はお招きした来賓・避難者・市民を含め42名でした。ご来賓から挨拶を頂いた後、主催者からこれまでの活動についてスライドを使って報告致しました。今後の活動について「弁護士さんにお願ひ東京電力への賠償問題について勉強会を実施しましたが、これを機会に社会的な問題にも関わっていきたい」と参加の皆様にお伝えしました。



復興支援の皆さんの活動を聞きました



次に復興支援員の皆様から支援活動の現状を伺いました。宮城県県外避難者支援員・福島県生活環境部避難者支援課・福島県浪江町復興支援員・福島県大熊町復興支援員・福島県双葉町復興支援員の皆様に活動報告を頂きました。復興支援員の活動方法は、行政の方針によってそれぞれ少しずつ違うことが分かりました。ご来賓から、これだけ支援員が一堂に会したことは素晴らしいと感想を頂きました。支援員と参加者の方々が交流の場の持てなかった事お詫びいたします。それにしても、被災地で復興支援員の居ない市町村が皆無になることを祈っています。

東北を味わう～懐かしい郷土料理を楽しむ



主催者挨拶をする広域避難者の会の佐藤利雄代表

6月23日(火)料理教室「東北の味覚を味わう」が市民会館の調理室で行なわれました。献立は、三陸わかめの味噌汁、東北産の野菜を使った煮しめ、かき揚げ、漬物と岩手県の郷土料理の釜もちです。参加者27名は5班に分かれてふるさとを感じながら楽しみました。



参加者で作ったメニュー



～参加者の感想～

- ・市民の方々と懐かしい山菜いっぱいの郷土料理と一緒に作り食べ楽しく交流することが出来、嬉しかった。
- ・ミツ葉、ふき、ぜんまい、お煮しめ、釜餅、東北の香りを堪能、かき揚げも美味しかった。ひと時嫌な事も忘れ、皆様と楽しい時を過ごし、感謝、又次回も期待しています。
- ・他の班が、釜もちの具の黒砂糖を外皮に混ぜ入れたので、色がとても美味しそうに見える食べてみたかった。 など参加した皆様の多くの反響が届きました。

JCN総会に出席



JCNさんに写真をお借りしました

東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)の年次総会に出席してきました。2014年度、労金&JCNさんに助成事業(山武市交流会・自主避難者交流会)でお世話になっています。会場で、広域避難の事で新しい出会いを頂きました。佐藤利雄さんに繋がります。総会后に、2016年度の活動について話し合いの場が持たれました。5年を過ぎた後の活動は、当団体にとっても大切な事案です。一つの団体では、解決ができないことも、他団体の支援を頂くことで実現できることも沢山あると思っています。 古宮記

避難者の体験記

連載! 私はあの時こうだった 高田孝一さん (福島県南相馬市) その1

被災者の方に、3.11の貴重な体験を一人でも多くの皆さんに忘れないで知って頂き語り継ぐことで今後も起こりうるであろう大災害に対してどんな心構えができるのか? 自分自身に問いかけして頂けたら幸いです。

それは、遡ること2ヶ月前の1月28日私の妻の職場で1月の極寒のさなか「へびが出たアーツ!」と大騒ぎになった。ある種の動物は地震の予知が出来るのだ。

武門(武術家)である我が家では日頃から危機管理として緊急時の非常持ち出し品の準備電気、ガス、飲料水など生活のためのインフラの対処、避難方法など怠りなくやっていた。当日、私は家の庭先に妻は家で調理をしていた。妻は直ちに火を消し戸外に飛び出し長い地震がおさまるとポケットラジオで情報を得ようとし、私はこの途轍もない規模の地震からして、津波と巨大な余震が、続くと考え万が一に備え車を車庫から農道に出し直ちに発進出来るよう配備した。車には非常持ち出しの品々、それから“武士の魂”を積み後に憂いを残さぬよう電気、ガスなどの処理を施し車の傍で待機、間もなくラジオから、6mの津波が押し寄せると報じたが、何分かして8mの高さに訂正、私は「これはまずい!」と車のドアを開け発進の用意をすると妻が、海の方に向かって「あれは何?」と言う。その方向は防風林で小山のように連なっているのだが、それがまるで横一列に雲が湧きたっているように見えたので「あれは津波だ!!」と即座に判断し高台へと車を飛ばした。高台には私のオーストラリアの弟子達が修行に訪日したおりに滞在した宿泊施設がありそこへ逃げ込んだ。その家人達と少ない食料を分け合い気のみ着たままで夜は明かりもなく暖もとれず余震に脅え2~3日共に過ごすのである。悪いことに巨大地震、大津波に加え、さらに追い打ちをかけるように東電原発爆発のニュースがラジオから飛び込んでくるのだ。

この知らせに福島県民全て恐怖で凍りついただろう。「ヒロシマ、ナガサキ、チェルノブイル、スリーマイルの悲劇がこの我が福島で?」と頭をよぎったに違いないと。
(次号に続く)

保子の窓

自主避難者への住宅提供
福島県17年3月で終了

6月16日(火)、各紙朝刊の報道のされ方。1面に大きく報道した新聞社・見落とす程小さく社会面に報道した新聞社などいろいろでした。打ち切り・終了・廃止など表現もいろいろでした。このように丁寧に新聞各社を見比べたのは、初めてです。新聞の情報を1社だけから受け取る不安を感じました。岩手県・宮城県も注目していきます。自主避難者の人数は、福島県内に5000人、外に20000人と福島県は推計しています。県は、17年度打ち切り以降の支援策を検討中とのこと。自主避難者とは：原発事故で政府による避難指示が出ている地域以外からの避難者

松戸・東北交流サロン「黄色いハンカチ」7月の予定

毎週火水木 10時~16時オープン中。利用は1回100円

7月7日(火) 歌の日

担当:前田洋子さん

7月8日・22日(水) 13時30分~

初めての囲碁教室~一から教えます~

市民ボランティア講師:今田靖雄さん

7月14日(火) 相談デー

就職・税金・介護・原簿補償・どんなことでも~

相談員:古宮保子

7月15日(水) 13時30分~15時 アロマの日

アロマで身体をリフレッシュ♪ タオル2本持参のこと

ボランティア講師:長谷川みすずさん

7月21日(火) 13時30分~ 手芸の日

楽しんで折り紙をしてみませんか

担当:戸丸栄子さん

7月23日(木) ママカフェ

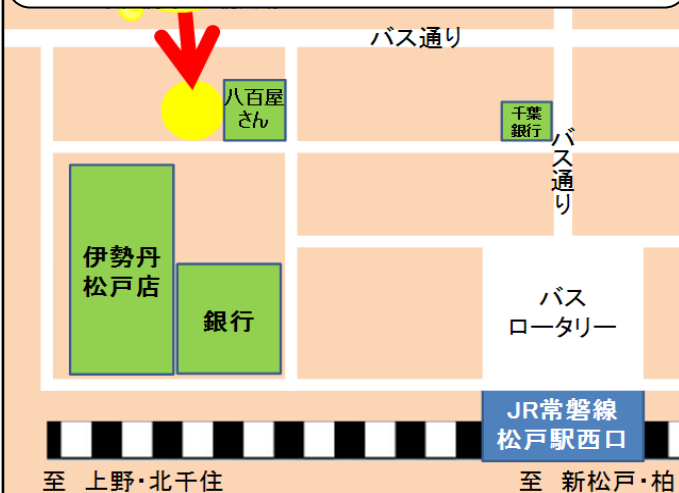
~子育て中の避難者の皆さん集まりましょう~

7月28日(火) 広域自主避難者交流の日

~語り合おう私たちのこれから~

松戸・東北交流サロン「黄色いハンカチ」アクセスマップ

松戸駅西口から徒歩5分(八百屋さんの隣のビル2Fです。)



2015年度サポーター会員募集しています。

松戸・東北交流プロジェクトでは、千葉県に避難をしている皆さんと交流・支援をする活動をしています。この活動を応援していただくサポーターを募集しています。交流サロン黄色いハンカチで受付をしています。

個人:1口1000円 法人・団体:1口5000円